

3月24日 市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的で開催しています。

3月は「進歩している肝がんカテーテル治療～新たな可能性を目指して～」をテーマに放射線科の武知克弥医師が講演しました。「肝臓は肝心、肝心要などの言葉があるように大変重要な臓器です」と話し始め、肝臓の働きや役割、検査方法などを丁寧に解説。その後、肝がん治療の中心となっている3つの治療法を順に紹介し、それぞれの長所と短所をわかりやすく説明しました。武知医師は「症例に応じた細かな検査、治療を適宜組み合わせ、切らずに腫瘍が消えることを目指すようにしています」と述べたほか、導入予定となっている機器についても触れ、今後の治療の幅が広がることを紹介しました。



徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

2月は「あなたはどうする？脂質異常症」をテーマに2人が講演しました。最初に村上尚嗣内科指導医師が「治療はなぜ、どこまで必要か？～病態・診断と管理目標～」と題して講演しました。コレステロールや中性脂肪など脂質についての説明のあと、悪玉（LDL）コレステロールが高くなる原因とリスクなどを丁寧に解説しました。続いて、里見かおり管理栄養士が「ドロドロ血よ、さようなら～上手な食品の選び方～」について講演。食生活に関する10の質問を参加者に投げかけたあと、栄養をかたよらせない主食、主菜、副菜の食べ方、さまざまな調理油の特徴と効果的な取り入れ方の重要性などを説明しました。161人の参加者も興味深く聞き入っていました。講演後は参加者から「納豆は朝夕どちらに摂るのが効果的か」「ココナッツオイルをたくさん摂ったほうがいいのか」などの質問が寄せられ、会場は熱気に包まれていました。



お知らせ 1月27日 市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

1月のテーマは「腰痛と背骨のていれ“これで必ず腰痛が治る”は嘘」。藤井 幸治第二整形外科部長が腰痛の原因や症状、対処法について説明しました。自身が腰痛持ちであるという藤井医師は、自分のMRI画像と20歳の健康な人のMRI画像とを比較しつつ注目点などをわかりやすく解説。腰痛患者さんの手術を8時間ほど立ちっぱなしで行った際に自分の腰痛が再発したエピソードなどを話し「腰痛のプロも腰痛になっている」とのユニークな講義に会場からはたびたび笑いが起こっていました。「腰痛は加齢である程度は起こるものです。完全にスッキリとは治りません。痛みが続いている人は、なるべく痛くならないよう手入れをして付き合っていくことが重要です。なかでも私は運動療法が一番の手入れだと思っています。有酸素運動や無酸素運動、ストレッチや日頃から良い姿勢を保つことも運動になります」と話すと、約200人の参加者たちは背筋を伸ばすなど、即座に反応していました。



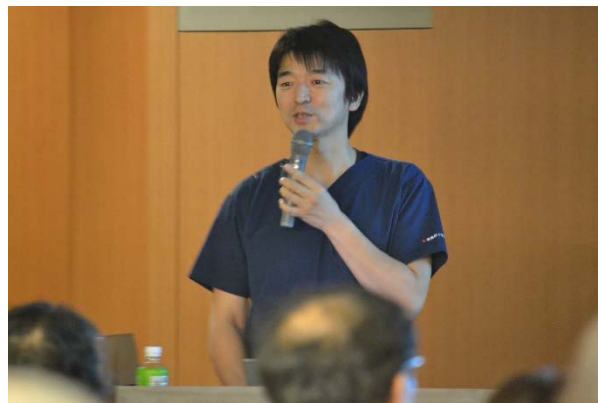
徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

11月のテーマは「こわいアレルギー アナフィラキシーショック!! でも知って安心!」。飛田 泰斗史皮膚科部長がアナフィラキシーショックの原因や症状、対処法について解説しました。症例画像やグラフ、また自身の子どもの頃の体験談などを交えたユニークな講義に、会場からは笑いもわきおこりました。「ハチ毒がひきおこすアナフィラキシーにはアドレナリン筋肉注射が特効薬。早く投与することが救命のポイントです」。また、マダニに咬まれたことのある80歳女性が、カレイの煮付けの魚卵を食べたところ手足がしびれ意識消失したという食物アレルギーの珍しい症例には、96人の参加者も興味深く聞き入っていました。講演後は参加者から「ハチの種類によってアレルギーの種類は違うのか」「エピペンをアナフィラキシーじゃない時に使用すると副作用はあるのか」などの質問が寄せられました。



徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

10月のテーマは「エコー検査（超音波検査）で心臓・血管を見る」。111名が聴講に訪れ、検査部の速水淳技師長がエコー検査の仕組みや種類、特徴などを動画や写真を使ってわかりやすく説明しました。カラードップラーを用いての血流の評価や血管の形態的診断などを解説した際には、映し出された映像をカメラで撮影する参加者の姿も見られるなど、注目の高さがうかがえました。



9月8日 第14回心臓病ビジュアル市民公開講座を開催しました



あわぎんホール

14回目の心臓病ビジュアル市民公開講座「もっと知りたい検査と治療～カテーテルで治す！脳・心血管の最新治療～」を9月8日に開催しました。メイン会場である徳島市あわぎんホールでは4名の医師がそれぞれ講演を行いました。また今年も徳島赤十字病院からあわぎんホールへカテーテル検査や治療の様子を生中継。サテライト会場である当院大会議室でも聴講可能とあり、両会場を合わせて206人が訪れました。

<講演>

|                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 狭心症と心筋梗塞         | 西内 健医師（川島病院）      |
| カテーテル検査で分かること    | 三河 純一医師（三河循環器科内科） |
| こんなに楽になったカテーテル治療 | 藤永 裕之医師（徳島県立中央病院） |
| 脳梗塞超急性期治療最前線     |                   |
| ～溶かす治療から取り除く治療へ～ | 花岡 真実医師（徳島赤十字病院）  |



サテライト会場 当院大会議室



カテーテル実施の様子

当院からも司会に日浅芳一院長、脳梗塞治療について脳神経外科の花岡真実医師が講演を行ったほか、カテーテル中継の術者として循環器内科医師（岸 宏一、高橋 健文、弓場 健一郎、小倉 理代）4名が実施しながら詳しく解説しました。参加者から回収したアンケートには、「大変わかりやすく説明していただき、治療の中継もとても良かった。今まで参加しなかったことを後悔しました。今後もできる限り参加します」「カテーテル検査、治療を生中継で見せていただき、とても身近に感じることができました。脳梗塞のご説明もとてもわかりやすくて聞き取りやすかったです」「カテーテル治療の実際を拝見し、大変勉強になりました。特に脳血管の治療は参考になった、女医さん頼もしい！」など好評な意見が多く寄せられ、カテーテル検査や治療への関心の高さがうかがえました。

8月26日 市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

8月のテーマは「知っていますか？血液のがん」。尾崎敬治第二内科部長が代表的な血液のがんの種類や特徴などについて、病理組織の所見や治療法を交えながらわかりやすく解説しました。「治療は切り取るのではなく、どんどん減らしていくイメージ」と話し、128人が熱心に耳を傾けていました。終盤では「骨髄はどこにあるんですか」「血液のがんは突発的に発生するのですか」などの質問が相次ぎ、尾崎医師は一つひとつ丁寧に回答していました。



7月29日 市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

7月のテーマは、「産婦人科に行こう！女性のからだと病気」。産婦人科の木内理世指導医師が女性のライフステージ別に疾患を取り上げてわかりやすく講演しました。思春期の月経異常などから始まり、性成熟期では妊娠・出産、子宮筋腫や卵巣嚢腫、更年期には子宮体癌、更年期障害、老年期での子宮脱など、年代に応じてかわっていく疾患を当院で



の治療状況や手術写真などを用いて説明。参加者は、普段みることの少ない子宮脱や卵巣嚢腫の摘出写真を興味深そうに見入っていました。最後に木内医師は「年に一回、子宮がん検診に行き、超音波検査も一緒に行いましょう！無症状で偶然発見されることが多い卵巣嚢腫の見つかる可能性が高まります」と述べました。



6月24日 市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

今月は「腹腔鏡下肝臓手術は安全か？」について、外科の富林敦司医師が腹腔鏡下手術の方法や当院での実施状況などを紹介し、手術の安全性を解説しました。当院で行われた手術写真を用いて症例ごとに詳しく説明すると、会場からは感嘆の声があがりました。富林医師は「腹腔鏡下肝切除術は術式の選択、術前の評価を十分に行うことで安全に施行することができると思っています」と述べ、講演後には参加者から多くの質問が寄せられました。



## 5月8日 第15回生活習慣セミナー2016を開催しました

5月8日、今年も晴天の下とくしま健康フォーラムの事業である「第15回生活習慣セミナー2016」が開催されました。日浅院長は「15年間1度も雨が降ることなく開催されてきました。医師と1日過ごすことで、さまざまな相談ができるようにと始められたので、気軽に声をかけてください」とあいさつしました。

参加者はウォーキング前後で血圧・血糖値の計測を行ったほか、市民公開講座ではメタリックシンドロームなどの生活習慣を見直すポイントについて聴講しました。その後、新緑の中でウォーキングを楽しみ、帰院した方から順にホスピタルカフェ特製「カレー味のシフォンケーキ」と「ゆずカルピス」で運動の疲れを癒しました。

参加された68才の女性は「友人に誘われて初めて参加しました。講演はとても勉強になったし、普段運動をしないのでいい機会になり良かったです。来年も参加しようと思っています」と笑顔で話されました。

